

## 市川市学校給食年表

		1955										1951		西暦									
昭和 49年	昭和 48年	昭和 47年	昭和 46年	昭和 45年	昭和 43年	昭和 42年	昭和 41年	1966	1965	昭和 39年	昭和 38年	昭和 37年	昭和 36年	昭和 34年	昭和 32年	昭和 31年	昭和 30年	昭和 29年	昭和 28年	昭和 27年	昭和 26年	昭和 22年	元号
<p>北方小調理場設置。</p>	<p>曾谷小・大町小調理場設置。</p>	<p>中国分小調理場設置。</p>		<p>四十年代ソフト麺が登場。脱脂粉乳と牛乳の混合乳が登場し、その後100%牛乳が登場。</p>	<p>宮久保小調理場設置。</p>	<p>鶴指小調理場設置。</p>		<p>昭和41年</p>	<p>昭和40年</p>	<p>第五中学校で完全給食開始。第七中調理場設置。</p>	<p>養護学校で完全給食開始。全中学校でミルク給食開始。(第一中、第七中)市川小・大柏小・養護学校調理場設置。</p>	<p>南行徳小調理場設置。</p>	<p>中山小・国分小・鬼高小・宮田小・稲荷木小調理場設置。</p>	<p>八幡小・若宮小・信篤小・行徳小調理場設置。</p>	<p>大柏小補助給食開始。真間小・菅野小調理場設置。</p>	<p>富貴島小調理場設置。富貴島小で週3回の完全給食開始。平田小・国府台小・</p>	<p>国府台小補助給食開始。</p>	<p>平田小学校で週3回の完全給食開始。 「学校給食法」施行</p>	<p>宮田小・平田小補助給食開始。</p>	<p>若宮小補助給食開始。</p>	<p>富貴島小補助給食開始。</p>	<p>市川市は全国に先駆け、市川小・真間小・中山小・八幡小・国分小・南行徳小で補助給食を開始。(※補助給食Ⅱ脱脂粉乳のみ)</p>	<p>学校給食</p>

2009	2008	1999	1998	1986	1976
平成21年	平成19年	平成16年	平成11年	昭和63年	昭和51年
「学校給食法」改正、「学校給食実施基準」施行、「学校給食衛生基準」施行	すべての小・中学校で、強化磁器食器が導入完了。	第七中学校建替え（PFI方式）に伴う完全ドライシステムの開始。 市川市で学校給食調理業務委託が6校で開始（国分小・大柏小・宮久保小・新井小・大野小・稲越小）	大洲小および大洲中で強化磁器食器の試行を開始。 学校給食調理業務等民間委託推進検討委員会の発足。 妙典小開校、完全ドライシステム導入。磁器食器導入。市川産なし・たけのこの使用が始まる。 市川市学校給食ビジョンの発表。	昭和61年 学校給食の食事内容の改善について保健体育審議会答申。また、食器等の食環境の充実化が進む。 昭和63年 妙典中調理場設置。	昭和51年 学校給食制度上に米飯が正式に導入。市川でも米飯給食が開始される。当初は炊飯委託した米飯、その後自校炊飯が始まり、米飯給食のメニューが広がる。 昭和52年 全中学校で完全給食実施。 全国的にランチルーム設置が進められる。百合台小・第二中調理場設置。 昭和53年 新浜小・富美浜小調理場設置。 昭和54年 柏井小・大洲小・幸小・下貝塚中・福栄中調理場設置。 昭和55年 新井小・南新浜小・大野小調理場設置。 昭和56年 塩焼小・稲越小・塩浜小調理場設置。 昭和58年 大和田小調理場設置。 昭和60年 南行徳中調理場設置。